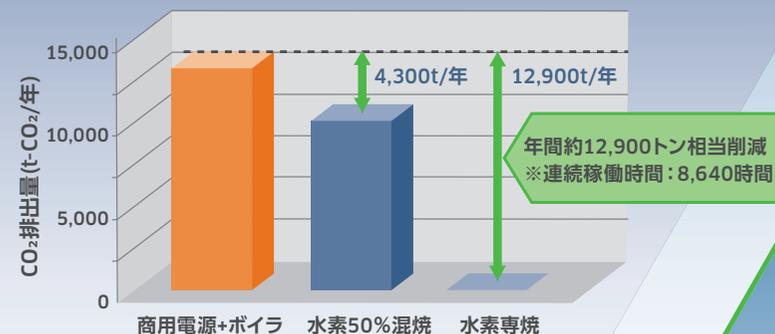


# 水素専焼ガスタービン 発電装置

水素専焼により、発電時における  
CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します

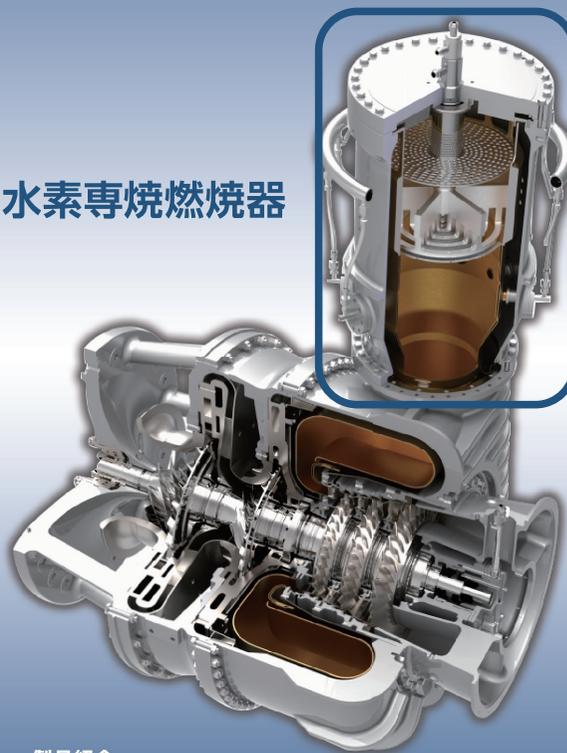
水素専焼ガスタービン発電装置は、従来の天然ガス  
焚きガスタービン本体を改造することなく水素専焼が  
可能であり※、ほぼ同等の発電効率を実現しながら、発  
電時におけるCO<sub>2</sub>排出量を年間約12,900トン相当削減  
できます。

※水素燃料設備と燃料混合装置を増設する必要があり  
ます。



**2024**  
Kawasaki  
Ecological Frontiers  
S class

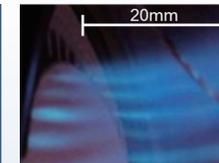
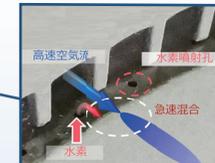
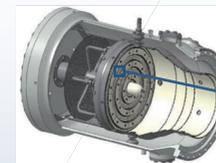
## 水素専焼燃焼器



### マイクロミックス燃焼

#### 微小な水素火炎を用いた低NOx燃焼技術

- ・NOxの発生源: 火炎中のホットスポットを抑制
- ・高温ガス中の滞留時間を低減
- ・予混合通路を持たないため逆火リスクが低い



微小な水素火炎を形成

#### 製品紹介

当社の実績豊富な M1A-17D を踏襲し、水素燃焼に特化  
した水素専焼マイクロミックス燃焼器※を搭載した水素専  
焼ガスタービン発電装置

※微小な水素火炎を用いた低 NOx 燃焼技術

#### 特長

- 中・小型産業用ガスタービン
- 水素 100~50vol% の任意の割合で混焼可能
- 既設機から燃焼器を交換することで、水素専焼方式に更新可能  
(水素燃料設備と燃料混合装置を増設する必要あり)
- 水素専焼で問題となる NOx 排出量については、大気汚染防止法を満足  
[70ppm(O<sub>2</sub>:16%換算)]